



Dentist & Dental technicians Collaboration

# Open Seminar

～ 欠損補綴治療において、その一つのケースにかける執念 ～

近年、多様化する補綴治療において、そのほとんどが機能の回復と審美性の改善がターゲットとなります。その要求に対するクオリティは高く歯科医師・歯科技工士のコラボレーションが必要不可欠となる今、実際に臨床の場から、松川 敏久先生、池村 仁克先生、奥森 健史先生をお招きし、その連携と共有化の重要性をご講演頂きます。

## Dentist

■ 講師

**松川 敏久**先生

松川歯科医院

咬合・補綴治療計画セミナー インストラクター / 大阪SJC 相談役 / 大阪SJC レギュラーコース インストラクター / K.S.I. 相談役 / カールツァイス社公認インストラクター



## Dental technicians

■ 講師

**奥森 健史**先生

有限会社デンタルプログレッシブ

咬合・補綴治療計画セミナーインストラクター / K.S.I. 主幹 / 大阪大学歯学部 歯科技工スーパーバイザー / 大阪SJC 会員 / 日本顎咬合学会 指導技工士 / デンタルリード テクニカルアドバイザー / デントウラム 公認インストラクター /



全部欠損から部分欠損まで、さまざまな欠損補綴治療の術式と実際

欠損における治療においては、インプラントブリッジ、インプラントオーバーデンチャー、フルデンチャーでの修復が考えられるが、天然歯が残存する部分欠損においては全部欠損より補綴設計はより複雑となる。補綴の設計は歯科技工士の持つ技術によっても大きく影響を受けるところである、今回さまざまな欠損に対し高い技術をもった歯科技工士とどのように対応しているかを報告したい。

欠損補綴の目的から考える機能させるパーシャルデンチャー・オーバーデンチャー

欠損補綴において、可撤性装置であるパーシャルデンチャーやインプラントを含むオーバーデンチャーも重要なオプションではないでしょうか。歯を復元させるプロセスには、“色”“形態”という目に見える部分と、それらが欠損歯列に、一体化し目には見えない“力”という部分をどうコントロールするのか、ラボサイドにおいてもその部分をpushして日常臨床に生かせれば、高い水準でチェアーサイドとのコラボレーションにつながるのではないのでしょうか。

■ 講師

**池村 仁克**先生 カメラ歯科矯正クリニック

名古屋SJC 会員

審美とパーシャルデンチャーの融合



### SCHEDULE

Seminar 1	12:35 ▶ 14:40	奥森 健史先生
Seminar 2	14:50 ▶ 15:20	池村 仁克先生
Seminar 3	15:30 ▶ 17:25	松川 敏久先生

### 【概要】

日時	2018年 3月18日(日) < 12:30 ~ 17:30 >
定員	60名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
場所	フクラシア品川 クリスタルスクエア3F 東京都港区港南1-6-41 品川クリスタルスクエア
アクセス	○JR 品川駅港南口から徒歩8分 ○京浜急行 品川駅から徒歩8分

### 【受講料】消費税込

	歯科医師	歯科技工士	K.S.I. 会員
<b>早期申込</b> 2018年1月末までに受付	9,720円	8,100円	7,020円
<b>通常申込</b> 2018年2月以降に受付	10,800円	8,640円	

協賛：Kansai Skill-up Innovation

[歯科技工士スタディーグループ K S I WEBサイト >>](#)